

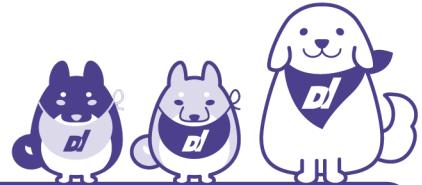
# DIスタッフ通信 No.80「学生時代のアルバイト経験」



なかにし けいすけ

## 中西 慶佑

担当 経理課 お客様係



皆様こんにちは。熱かった東京オリンピックも無事に終わり、涼しく爽やかになりはじめる時期とともに多くの感動が後に残りましたが、皆様はいかがだったでしょうか。私も何種目か観てきましたが、意外と放送されていない競技も多く、ネット配信中心に観戦していました。その中にはSNSトレンドで1位になったものもあり、多くの人が画面の向こう側と一緒に楽しんでいたのが分かり少し嬉しくなりました。無観客でなければ現地で観戦したかったのが本音です。

さて今月のお題「学生時代のアルバイト」ですが、私の大学時代は講義に資格取得に実習と忙しく、学校外でアルバイトをする時間はありませんでした。またそれ以前になりますと、実家が自営業だったこともあり家業の手伝いに奔走していました。(それもアルバイトと言ってもいいような気がしますが…)

そのような中でもアルバイトといえるようなことをしたのは、大学時代に教授たちの雑用を手伝ったことです。本来ならその教授所属のゼミ生の仕事(無給)でしたが、偶然にも声をかけてもらいました。給料は雀の涙程度なのはわかっていましたが、その教授との縁ができると思惑もあり手伝いました。結論から言うと思惑は外れましたが、仕事自体は簡単な仕分け程度で和気あいあいとした雰囲気でした。

もっとも給料というか利益を稼ぐという点では、学園祭で模擬店を出した方が多く稼げましたが、アルバイトという形で働いたのは大学時代の手伝いが多く勉強になりました。給料を稼ぐというより経験を稼いだというのが私の学生時代のアルバイトでした。